

教えて! ICU

集中治療に強くなる



はじめに	3
カラーアトラス	8

第1章 教えて! 意識・鎮静

1. 鎮静薬の考え方	10
①鎮痛薬と鎮静薬を区別する ②疼痛と不安の評価方法(「A」と「B」の部分) ③鎮静薬の選択と考え方(「C」の部分) ④せん妄への対策(「D」の部分)	
2. 心停止後患者と神経学的予後	23
①蘇生後の脳蘇生の重要性 ②蘇生後の脳機能評価法 ③蘇生後の予後の予測因子 ④蘇生後の画像所見 ⑤複数の評価方法で	

第2章 教えて! 呼吸

1. 気管切開術のタイミング	36
①気管切開術のメリット ②気管切開術のタイミング ③気管切開術の管理上の注意点	
2. 分離肺換気を用いた治療	45
①ICUでの分離肺換気の適応 ②二腔式(ダブルルーメン)気管チューブを用いた方法 ③気管支ブロッカーを用いた方法 ④分離肺換気を用いた呼吸管理	
3. ECMOやHFOVを用いたARDSの治療	58
①ARDSとは? ②ARDSの治療 ③ECMOの導入 ④HFOVの原理	

第3章

教えて! 循環

1. pHが低いと昇圧薬は効きにくい? 72
①代謝性アシドーシス その1 ②pHが低いと昇圧薬は効きにくい ③補正すべき代謝性アシドーシスの値 ④CPAでのメイロン®は? ⑤代謝性アシドーシス その2
2. ScvO₂からみる循環管理 85
①Sepsisの治療ガイドライン ②ScvO₂の基礎 ③ScvO₂の計り方 ④各種パラメータの使用
3. 血小板減少に対するPC投与 99
①出血傾向について ②PC輸血の開始基準 ③処置の際のPC輸血基準 ④PCの投与量 ⑤血小板が減少する体外循環装置 ⑥血小板が減少する疾患
4. 赤血球濃厚液の使い方 113
①そもそもなぜ輸血が必要か? ②RCC輸血のトリガー値は? ③外傷での輸血(RCCと新鮮凍結血漿) ④輸血の副作用

第4章

教えて! 感染・内分泌・腎・栄養

1. 抗菌薬耐性菌とその対策 126
①微生物学の基礎, βラクタマーゼ ②ESBLとは ③AmpCとは ④多剤耐性緑膿菌と多剤耐性アシネトバクター ⑤BLNARとは ⑥標準予防策 ⑦手洗いの必要性
2. ステロイドカバー 140
①ステロイドの既往 ②ステロイドカバーが必要? ③ステロイドカバーの量
3. 急性腎傷害を起こす前に横紋筋融解症を治療する 149
①横紋筋融解症の病態 ②横紋筋融解症の治療 ③CPKの値
4. 経腸栄養と腸蠕動運動低下への対策 158
①栄養開始のタイミング ②最適なエネルギー投与量は? ③経腸栄養開始時の評価 ④腸蠕動低下への対策

1. 中心静脈カテーテルの先端の位置	170
① 穿刺部位と合併症 ② CV 挿入時の注意点 ③ 挿入後の感染管理	
2. 外傷性脾損傷の治療戦略	182
① 脾損傷の非手術療法 ② 脾損傷の重要な合併症 ③ NOM の予後	
3. 外傷後のADL	193
① ベッド上安静の期間 ② 合併症の予防 ③ 静脈血栓塞栓症	
4. 災害時のICU	202
① 発災時の行動 ② CSCA について ③ TTT について ④ 災害訓練 ⑤ ライフライン	
5. ICUとメンタルケア	215
① 尿中薬物検出キット (トライエージ) とフルマゼニル ② 縊頸 ③ MSPS と GPE ネット	
6. 集中治療医・ICUとは	227
① いろいろなICUの形 ② closed と open なICU ③ 外傷は誰が診るのか? ④ 集中治療の研修現場	
索引	235

column

当直中のいびき	22
スマホの発展	34
炭酸水を飲んでいますが何か	98
指導とは?	112
医療3本柱の原則	168
カンファレンスにおける集団思考	176
さまざまな研修医	201
あの看護師のことが好き	214
過誤をなくすために航空業界から学ぶこと	226
学会で本買いますか?	234